

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月10日更新

事務事業名	子ども集会参加事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局	課長名 田中 政吉
計画	施策	12 人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名 高野 和子
体系	施策の柱	43 人権尊重についての理解と相談体制の充実	所属班	啓発教育班	(内線) 5334
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 4	事業連番 10865
根拠法令					
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県子ども集会への参加する事業であり、平成9年5月に第1回集会が開催された。小学生から高校生まで子どもを主体とした活動を通してすべての人々の人権意識の高揚を図るとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、一人一人の人権が尊重される人権共存社会の実現をめざすために始まった。対象者は県内小・中・高等学校の児童生徒である。平成29年度は、合志小学校6年生が学習成果を発表した。例年、10月にパークドームが会場となっていたが、令和元年度のこの時期が熊本県において国際的な2つのスポーツ大会が開催されるため、熊本城ホールで実施された。令和2年度～4年度は、パークドームでの開催が新型コロナウイルス感染拡大防止のため県決定により中止となり、オンライン開催へ変更された。令和5年度より人権教育事業に統合。
【業務の流れ】	集会中止が決定されたため一連の業務は無くなったが、例年は下記の事務を行っている。 ①市内各学校の児童・生徒に各学校協力のもと参加の有無の調査をする。②参加者数の確定後、バスの借上げ契約を行う。③集会当日は、参加した児童・生徒の輸送のための安全確保を行う。
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務手当)、役務費(1日傷害保険料)、使用料及び賃借料
【意見や要望】	菊池郡市管内小中学校は毎年参加者が増加しており、ピストン輸送が多くなり待ち時間が長い関係で大型バス配置の増車の希望が出ている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
熊本県子ども集会(小学生から高校生まで子どもを主体とした活動を通してすべての人々の人権意識の高揚を図るとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、一人一人の人権が尊重される人権共存社会の実現をめざす県主催のイベント)に対し、本市児童生徒が発表者や観覧者として参加するものであり、10月にパークドームで開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため昨年に続き中止となり、オンライン形式に変更となった。	熊本県人権子ども集会(パークドーム)への参加。各学校担当者と連絡調整を行う。令和5年度より人権教育事業へ統合
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア 参加者数	人権教育事業へ統合することによる事業費の減
イ 借り上げたバスの数	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
児童・生徒	(単位) 人
	ア 児童・生徒の数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
差別に負けない力をつけることができる。	(単位) 人
	ア 差別を見抜く力を身につけた人の数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠	
集会に参加し、人権問題の理解を深め差別を見抜く力を身につけた人の数が増えて行くことが差別をなくす事につながっていく。	
総トータルコスト 全体計画 ～年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人	0	0	900	0	900	900	900	900
	台	0	0	12	0	12	12	12	12
② 対象指標	人	6,944	7,173	7,200	7,317	7,300	7,300	7,300	7,300
	人								
③ 成果指標	人	0	0	900	0	900	900	900	900
	人								
投資	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円			1,242		1,242	1,242	1,242
入費	(A) 事業費計	千円	0	0	1,242	0	0	1,242	1,242
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	0	3	2	3	3	3
	延べ業務時間	時間	190	0	80	111	80	80	80
トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	749	0	318	422	318	318	318
	千円	749	0	1,560	422	318	1,560	1,560	1,560

事務事業名	子ども集会参加事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 コロナウイルス感染拡大に伴い事業が中止されたため、目標を達成することができなかった。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 コロナウイルス感染拡大に伴い事業が中止されたため、目標を達成することができなかった。なお、次年度もパークドームにて開催予定であるが、不透明である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 集会が開催の運びとなれば、学校と連携して一人でも多くの子どもに参加してもらえるよう周知を行う。また、当日参加しただけで終わらないように事後学習を学校に依頼するなどの働きかけを行う。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業は他にない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は使用料・賃借料・役員費（保険代）であり、これ以上の削減は見込めない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の職員で対応しており、これ以上の人件費の削減は見込めない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 集会への参加者は市内の小中学校の児童・生徒であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 本集会は、一人ひとりの人権の尊重等の学習の場であり、また、本市の子ども達が参加する集会であるため、行政が担うことは適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

今後も各学校と連携を密にし、一人でも多くの児童・生徒が参加できるようにしていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						